

## 日本クラブバレーボール連盟理事会会議要旨

日時：平成 30 年 2 月 17 日(土) 午後 3 時～5 時

場所：ホテルクライトン江坂 会議室

### 理事会成立の確認

・本連盟規約第 29 条において理事会は、理事の 2 分の 1 以上の出席しなければならない。ただし、委任は出席として取り扱うこととなっており、出席 22 名、委任 6 名、計 28 名となり理事会が成立していることが確認された。

### 開会のあいさつ

日本クラブバレーボール連盟 会長 中川 和雄

### 議事録署名人の指名

議事録署名人として 2 名が指名され了承された。

沖 和男（常任理事 中国ブロック理事）

仮屋喜一郎（理事 総務副委員長）

### 議 題

#### 1 第 1 号議案 平成 29 年度日本クラブバレーボール連盟の事業報告（案）について

資料に基づき、田中清理事長から説明・報告された。

第 1 号議案は、原案通り承認された。

#### 2 第 2 号議案 平成 29 年度日本クラブバレーボール連盟 予算執行状況について

資料に基づき、樋口総務副委員長から平成 30 年 1 月 31 日までの収支状況報告が説明された。登録選手が 6.8%増加となっているが、配賦金の分配については未定な部分もあるため予算額と同様に 800 万円とした。中間報告であり 3 月末をもって決算し、そのうえ監事監査を受けたのち文書報告する。

第 2 号議案は、監事監査を得て後日文書報告することを含め原案通り承認された。

#### 3 第 3 号議案 平成 30 年度日本クラブバレーボール連盟事業計画（案）について

資料に基づき、田中清理事長から説明・報告された。

##### (1) クラブの育成と既存クラブの連盟への加盟促進

- ・新 MRS への移行をスムーズに完了したい
- ・役員登録料は 2018 年度について 0 円で様子をみたい
- ・当連盟役員や評議員の全員役員登録を目指したい(6 月末から登録可能)

##### (2) 財政基盤の確立

- ・役員用クラブカップポロシャツの販売等を継続し収益を維持したい
- ・クラブカップ負担金に関する補助金等を引き続き JVA に要請したい
- ・クラブカップの負担金 200 万円を減額することできた

##### (3) 連盟組織の充実と専門委員会事業の推進

- ・ブロック支援事業は再検討していきたい

##### (4) 関連大会の充実

- ・地域リーグの在り方を検討し、クラブチームの活性化を図りたい
- ・9人制の普及振興で国内競技会検討プロジェクト委員会への参画していきたい
- ・トップチームを決定する大会の活性化を図りたい
- ・補助対象大会（震災復興大会）のノウハウや実績を有効活用したい
- ・2番手3番手のチームのための大会等を検討したい
- ・クラブカップ参加チームの確保・開催地の条件により増加可能である（ブロック枠調整のお願い）

(5) 指導者及び審判員の養成と資質の向上

- ・公認指導者養成講習会の開催所管がハイパフォーマンス事業本部指導者養成委員会へ移管され、本年は東北ブロック福島市で開催される
- ・東日本ブロック選手権大会を活用した審判員の育成を図りたい

会議の開催について

次年度は役員改選時であり役員選考委員会を開催する。他は例年に準じて会議開催を調整していく。

専門委員会の事業について

競技委員会 資料に基づき、坂田委員長から説明・報告された。

- ・資料の補足
- ・p 6 8 毎日新聞社からのお願いについて
- ・p 7 1 クラブカップ代表枠数について（p 7 0参照）
- ・p 7 4 日程追加 9人制④ 締め切り 6/27 抽選 7/7
- ・p 7 4 日程追加 6人制⑥ 締め切り 7/11 抽選 7/15

指導普及委員会 資料に基づき、大橋委員長から説明・報告された。

- ・指導員資格取得講習会開催の件について
- ・講師未定の件について状況の報告（地元の講師要請・確保中であることの報告）
- ・6月上旬に委員会を開催し決定したい

総務委員会 資料に基づき、福嶋委員長から説明・報告された。

次のような意見があり

- ・新MRSの登録連絡について情報が錯綜していたのではないか
  - ・新MRSの伝達講習会について、登録等について混乱があったと思う
  - ・新MRS導入における過程が不明瞭である感がある
  - ・様々な意見があるが移行を踏まえたくうえで、今年度は様子を見る
- 第3号議案は、以上のような意見も踏まえ確認、原案通り承認された。

4 第4号議案 平成30年度日本クラブバレーボール連盟 事業収支予算（案）について  
資料に基づき、樋口総務副委員長から説明された。

- ・JVAの大会負担金が200万円を減額
- ・旅費交通費：役員改選期であり役員選考委員会費用を計上

・事業費の各種大会 支援事業の減額について説明

次のような補足・質問・意見があり

- ・会計において無理のないように行う必要がある
- ・キャッシュフローの考え方を適正にしていく必要がある
- ・記念事業費用について使用用途・残金をきちんと考える必要がある
- ・予備費の考え方・計画を考える必要がある
- ・予算状況は決して安泰なものではない

第4号議案は、以上のような意見も踏まえ確認、平成29年度決算、繰越金を確定後、後日文書報告することを含め原案通り承認された。

5 第5号議案 平成29年度被表彰者選定について

資料に基づき、田中清理事長から説明・報告された。

- ・中村氏の推薦については、ブロック推薦の表記されていないとの指摘があり、確認のうえ北信越クラブバレーボール連盟理事長からの推薦と訂正された
- ・小比賀副会長、粥川監事については来年度以降記念事業やJVA表彰を考えたい

第5号議案は一部修正のうえ、原案通り承認された

6 第6号議案 その他

- ・日本協会から日本協会評議員候補者の推薦についての案内がきている。本連盟としての対応について諮り、田中理事長を中川会長から推薦することとなった。

閉会のあいさつ

日本クラブバレーボール連盟 副会長 橋爪静夫

平成30年2月17日

議事録署名人

沖 和男

飯屋喜一郎